

第6回アジア太平洋地域宇宙機関会議の開催について

平成11年5月19日
科学技術庁
宇宙開発事業団

1. 経緯

アジア太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF)は、1992年の国際宇宙年での活動を継続する趣旨で、同地域における宇宙開発の現状や、今後の宇宙協力について情報交換を行う場として、日本のイニシアチブにより開催されてきた。第1回から第4回は東京において、科学技術庁、宇宙開発事業団(NASDA)、文部省宇宙科学研究所(ISAS)の共催で開催され、前回はウランバートル(モンゴル)において、モンゴル国立リモートセンシングセンターも共催に加わり開催された。

2. 開催方針

第6回会議を以下の方針により開催する。

- ・本年7月に国連宇宙空間平和利用委員会特別会期として開催される第3回国連宇宙会議(UNISPACEⅢ)のプレイベントと位置づける。
- ・「宇宙技術の応用」をテーマとして、地球観測分野等の従来の分野に加え、宇宙環境利用分野等を含む広範な分野を取り扱う。
- ・従来のようにアジア太平洋地域における宇宙機関のみ参加する会議とするのではなく、欧州の宇宙機関等、宇宙先進国の宇宙機関からのゲスト参加も依頼する。また、航空宇宙産業界にも広く参加を呼びかける。

3. 会議の概要

(1)日 程： 平成11年5月24日(月)～5月27日(木)
(24日はサイト・ツア―)

(2)場 所： つくば宇宙センター実験棟大会議室

(3)主 催： 科学技術庁(STA)、宇宙開発事業団(NASDA)、宇宙科学研究所(ISAS)

(4)使用言語： 英語(一部逐次通訳あり)

(5)参加国・機関： 別添参照のこと

4. 主な議事

(1) サイト・ツアーア

国土地理院、防災科学技術研究所、NASDA

(2) オープニング

基調講演 アジア太平洋地域における宇宙技術応用の貢献(ESCAP)

基調講演 各国の宇宙計画(マレーシア、中国、タイ)

特別講演 アジア太平洋地域における国際協力について(国連、米国、仏、加)

(3) 分野別セッション

・ 教育・普及

・ 宇宙環境利用

・ 地球観測

- 地球観測データ利用による災害監視及び軽減

- 地球観測データ応用

- 地球観測将来ミッション

・ 通信・放送・測位の分野における衛星利用計画

(4) 全体討議

UNISPACEⅢに向けて

(別添)

APRSAF参加実績一覧

国名(機関名)	1 st	2 nd	3 rd	4 th	5 th	6 th	備考
オーストラリア(ASO)	○	○	○			○	
バングラディシュ(SPARRSO)	○	○	○	○			
カナダ(CSA)	○	○	○	○		○	4名
中国(SSTCC、NRSC)	○		○			○	
(CNSA)	○		○	○	○	○	4名
(IRSA/CSA)				○		○	2名
インド		○	○	○	○	○	* 大使館より代理出席
インドネシア(LAPAN)	○	○	○	○		○	
キリバス	○					○	* 大使館よりオブザーバー出席
韓国(KARI)	○	○	○	○	○	○	
(KAIST)	○	○	○	○			
マレーシア(MACRES)	○	○	○	○	○	○	
モンゴル(NRSC)	○	○	○	○	○	○	
ネパール	○	○	○	○	○	○	
ニュージーランド			○	○		○	* 大使館よりオブザーバー出席
パキスタン(SUPARCO)	○	○	○	○			
フィリピン	○	○			○	○	
ロシア(RSA)	○	○	○			○	* 大使館よりオブザーバー出席
シンガポール	○	○	○	○		○	
スリランカ	○	○	○	○	○	○	
タイ(NRCT)	○	○	○	○	○	○	
USA(NASA)					○	○	
ヴィエトナム	○	○	○	○	*	○	* 駐モンゴル大使館よりオブザーバー出席
ISU		○	○	○		○	* 日本事務局より代理出席
UN(ESCAP)	○	○	○	○	○	○	
(OOSA)		○				○	
ドイツ(DLR)					○		
フランス(CNES)					○		

(注)第6回は予定。

(参考)

第6回 アジア太平洋宇宙機関会議 アジェンダ

平成11年5月19日現在

5月24日(月)

13:10 ~ 18:00 <サイト・ツアーチ>

- 13:10 第一ホテル集合
- 13:15 第一ホテル出発
- 13:30-15:00 国土地理院
- 15:15-16:15 防災科学技術研究所
- 16:30-17:45 筑波宇宙センター
- 18:00 第一ホテル着

5月25日(火)

9:30~10:30 <参加者登録>

10:30~13:20 <オープニング>

総合議長： 的川泰宣 宇宙科学研究所教授

- 10:30-10:40 議長挨拶
- 10:40-10:50 開会挨拶
- 10:50-11:00 歓迎挨拶

的川泰宣 宇宙科学研究所教授
池田 要 科学技術庁研究開発局長
内田勇夫 宇宙開発事業団理事長

(挨拶逐次通訳有)

11:00-11:20 基調講演1 アジア太平洋地域における宇宙技術応用の貢献

- Mr. Virgilio Solis Santos

Economic affairs officer, space technology applications section, ESCAP

11:20-12:20 基調講演2 国家宇宙計画

- Mr. Nik Nasruddin Mahmood, Director, MACRES (マレーシア)
- Mr. Luo Ge. Director General, Department of Foreign Affairs, CNSA

(中国)

- Mr. Suvit Vibulsresth, Deputy Permanent Secretary, MOSTE (タイ)

12:20-13:20 特別講演 アジア太平洋地域における国際協力について

- Ms. Takemi Chiku, Office for Outer Space Affairs (国連)
- Mr. Gilbert R. Kirkham, NASA Representative (米国)
- Mr. Jean-Pascal Le Franc, Assistant Director, International Relations, CNES (仏)
- Mr. Michel Giroux, Director, External Relations, CSA (加)

13:20~14:30 昼食(厚生棟他)

14:30~15:30 <セッション：教育・普及>

セッション議長：Mr. H.S.P. de Alwis

Deputy Director, Arthur C. Clarke Institute for Modern Technologies

各国の取組の紹介

14:30-14:45 "Education, Training and Research of Space Applications at Asian Institute of Technology" 村井 俊治 東京大学教授

14:45-15:00 「宇宙教育に I S Uが果たす役割」 I S U (I S U日本事務局代読)

15:00-15:15 「日本における宇宙教育」 的川泰宣 宇宙科学研究所教授

15:15-15:30 質疑応答

15:30-15:45 休憩

15:45~17:00 <セッション：宇宙環境利用>

セッション議長： 的川泰宣 宇宙科学研究所教授

15:45 - 16:15 「国際宇宙ステーション計画の概要及び我が国の貢献について」 N A S D A

16:15 - 16:45 「I S S利用計画の現状」 N A S D A

16:45 - 17:00 質疑応答

(宇宙センターにて記念写真撮影)

18:00~ 20:00 <レセプション> 於：筑波第一ホテル

5月26日(水)

9:00~ 9:30 <参加者登録>

9:30~17:45 <セッション：地球観測>

セッション議長：村井 俊治 東京大学教授

パネル議長：森山 隆 宇宙開発事業団主任開発部員

9:30 - 11:30 地球観測データ利用による災害監視及び軽減「事例発表とパネルディスカッション」

9:30 - 9:45 「森林保全への衛星データの利用」 (ネパール)

Dr. Swoyambhu Man Amatya, Director, 森林研究調査部

9:45 - 10:00 「草原火災等の災害モニタリングへの衛星データの応用」

Mr. Sodov Khudulmur, Director, NRSC, 自然環境省

(モンゴル)

10:00 - 10:15 「高分解能光学センサデータによる土地及び森林火災の監視」

Mr. Lim Hock, Director, CRISP (シンガポール)

10:15 - 10:30 「災害監視／軽減のための衛星データの応用」

NASDA (日本)

10:30 - 11:15 パネル・ディスカッション

パネラー：上記発表者及び民間企業（ユーザ、プロバイダ）

11:15 - 11:30 休憩

11:30 - 15:45 地球観測データ応用 「事例発表とパネルディスカッション」

11:30 - 11:45 「資源監視・管理のためのリモートセンシング活動」（インドネシア）

Prof. Dr. Harijono Djojodihardjo, Chairman, LAPAN

11:45 - 12:00 「農業分野へのリモートセンシングデータの応用及びG I Sについて」

Dr. Hoang Viet Giao, Scientific Secretary,

国立宇宙技術応用評議会（ベトナム）

12:00 - 12:15 「国土管理へのリモートセンシングデータの応用」

Mr. Huadong Guo, Director of IRSA,CAS (中国)

12:15 - 12:30 「Emerging Challenges in South Asia in Geoinformatics」

Mr. Pramod S.S. Pradhan, Division Head, MENRIS,ICIMOD

(ネパール)

12:30 - 12:45 「地球環境問題に係わる行政利用への衛星データの利用」

Mr. Teresita Pamela M. Liao, Senior Environmental Quality

Dept. Environmental Management Bureau (フィリピン)

12:45 - 13:00 質疑応答

13:00～14:30 昼食（厚生棟他）

(地球観測データ応用セッション続き)

14:30 - 14:45 「新C S Pレーダー応用プログラム」

Mr. Florian Guertin, Program Manager, Director,
Natural Resources Canada, Data Acquisition Division, CSA (加)

14:45 - 15:00 「地球観測データの応用」

NASDA (日本)

15:00 - 15:45 パネル・ディスカッション

パネラー：上記発表者及び民間企業（ユーザ、プロバイダ）

15:45 - 16:00 休憩

16:00 - 17:45 地球観測将来ミッション 「各国の計画紹介」

16:00 - 16:15 「21世紀の地球観測について（ハイパーサット含む）」

Dr. Braian J.J. Embleton, Executive Director, Cooperative Research Center for Satellite Systems (豪)

16:15 - 16:30 「宇宙インフラストラクチャー開発による総合的国土・地球環境保全への取組み」

Mr. Nik Nasruddin Mahmood, Director, MACRES, 科学技術環境省

(マレーシア)

16:30 - 16:45 「韓国の将来地球観測ミッションについて」

Dr. Kuen-Ho Chang, President, KARI (韓国)

16:45 - 17:00 「RADARSAT II プログラムについて」

Mr. Pierre Hebert, Project Manager, Radarsat II, CSA (加)

17:00 - 17:15 「独のCHAMP ミッションについて」

Dr. Hans-Joachim Kroh, Corporate Development and External Relations, DLR (独)

17:15 - 17:30 「ADEOS-II、ALOS、GCOMについて」 NASDA

17:30 - 17:45 質疑応答

5月27日(木)

9:00~9:30 <参加者登録>

9:30~13:00 <セッション：通信・放送・測位の分野における衛星開発・利用計画>

セッション議長：Prof. Harijono Djojodihardjo, Chairman, LAPAN

各国のプログラムの紹介

9:30 - 9:45 「オーストラリアの衛星開発及び利用計画」

Dr. Braian J.J. Embleton, Executive Director, CSIRO (豪)

9:45 - 10:00 「地方開発のための衛星利用プロジェクト」

Mr. Virgilio Solis Santos, Economic affairs officer,
space technology applications section, ESCAP

10:00 - 10:15 「インドの衛星開発利用計画について」 ISRO (印)

Dr. Vijay Trimbak Chitnis, Embassy of INDIA 代読

10:15 - 10:30 「中国の衛星開発計画について」

Mr. Zhang Liangrui, Division Director of Dept. of Science and Technology
Quality, CNSA (中国)

10:30 - 10:45 休憩

10:45 - 11:00 「高速・大容量通信衛星の開発及び利用構想」 郵政省CRL
11:00 - 11:15 「ETS-VII衛星の通信実験構想」 郵政省CRL
11:15 - 11:30 「ETS-VII衛星の測位実験構想」 NASDA
11:30 - 11:45 「衛星利用及び共同開発における地域協力に向けたNASDAの取り組み」 NASDA
11:45 - 12:30 「衛星利用に係わる産業界の取り組み」 衛星関連企業（日本）

12:30 - 13:00 質疑応答

13:00~14:30 昼食（厚生棟他）

14:30~16:00 <全体討議> - UNISPACE IIIに向けて
セッション議長：村井 俊治 東京大学教授

1. 活動報告

セッション報告（各セッション議長による）

2. 全体討議（各セッション議長参加）

16:00~16:30 休憩

16:30~17:00 <クロージング>

議長総括

的川泰宣 宇宙科学研究所教授

閉会

的川泰宣 宇宙科学研究所教授

以上